



2021年2月14日 発行

東京フレンド

第509号

## 聖句

御言葉を行う人になりなさい。  
自分を欺いて、ただ聞くだけの人  
であってはなりません。

(ヤコブ書1章22節)

希望をもって進みましょう

## 信仰による絆を強めて

山本幸子

「見えるものに対する希望は希望ではありません。現に見ているものを誰がなお望むでしょうか。私たちは目に見えないものを望んでいるなら、忍耐して待ち望むのです。」

(ローマの信徒への手紙8章25節)

東京月会の代表を務めるのは3期目となります。年会代表も3期務めました。それは、役割分担です。現在の私の状況がその役が取れるほど恵まれていたから、その役をとっているに過ぎません。友会は全員牧師という前提の基に無牧師で成り立っている集会です。次に自分はどんな役割がとれるかを全員が考えていないと会の運営は行き詰まってしまいます。組織も無くてはならないのですが、それ以上に信仰による絆をいかに保っていくかが今問われているように思います。

昨年春、新型コロナウイルス感染が広がる中、プログラムも無い、牧師もいない私たちの集会はどうしたら良いのかと考えました。多くの教会が礼拝会を中止した頃です。ともかく集まる人だけで集会を続けよう、礼拝が私たちの生きる原動力なのだからと数名が集まって礼拝会を続けました。そんな時、米国在住の若い会員が、米国の集会ではオンラインで礼拝をしているから東京月会も始めないかとZoomを開いてくれました。それ以来Zoomを活用しています。それにしても、会堂での礼拝は各家で個別に礼拝に参加する人たちの気持ちの一つにまとめるためにも続ける必要があると思いました。そのよ

うなわけで10名前後の会員と会友そして10名ほどがZoomで参加して礼拝会を守り、今に至っています。



Zoomで礼拝に参加している人と一緒に。

右のパソコンは韓国大田月会のZoom

す。時々、ネットで調べて来られる新しい参加者もいます。礼拝はそれで良しとして、運営はどうなっていくのか、今後もっと多くの会員たちが集会に集うようになるのか、先行きは不透明です。そんな中、一昨年の総会以来、悩みに悩み祈った末に私の中に一つの希望が生まれました。それが神の御旨にならなっていて将来を担う会員たちの同意が得られるならば、希望を言葉にして発信しました。しかしコロナ禍の中、話し合いが十分尽くされていません。さしあたって可能性を探る判断材料となる資料を集めるための委員会が発足しましたので、その結果を待って、学園の意向も確かめ、一歩一歩進めていくしか無いと思います。これは東京月会が当事者と

なる大きな変革なので、会員の皆さまが自分のこととして関わって下さることを願っています。全てに時があると思っています。

とは言っても当面は現状を維持し、月会を運営していかねければなりません。第1日曜日の「クエーカー学習会」の後、教務委員会を開くのですが、第3日曜日の事務会もその4人だけで行うというようなことが続くと、果たして私たちの集会は成立しているのかと危ぶむ気持ちにもなります。どうぞ、自分の知らないところにいるいろいろなことが動いて行ってしまうという気持ちにならないためにも、文書をよく読み、出来る範囲で応答して、主体的に信仰の交わりを持ち続けて下さい。今のようなきこそ、良く考えて良く祈り、信仰によってphysical distanceを埋めていく努力が必要なのではないでしょうか。このような状況の中、休まずに来て手助けして下さい。会友の方たち、Zoomで遠方から礼拝や勉強会に参加して下さい。メールや電話を下さる方々に励まされています。肉体の健康は第一に考えなければなりません。霊の管理者としても努力を要する日々だと思えます。共に希望をもって前に進みましょう。

(東京月会代表書記)

# 愛する友へ

金照年

お元気ですか？ そう、元気がと尋ねるのとはばかられるこの頃です。昨年2月から新型コロナウイルス感染症の問題で、国中、世界中が緊張と憂鬱な日常の続く年でした。日を重ねるほど、当事者となったり、親しい人が感染して治療を受けたり、隔離をされたりすることが増えました。心配や不安が日常となり、これまで当たり前だったことが、まったく馴染みのないことになってしまいました。むりやり正常と非正常をまったく新たに整理しなければならなくなりました。厳密には、正常と非正常とを容易に分けて判断することはできないでしょう。ある時代、ある人たちにとっては正常なことが、別の時、他の人たちにとってはまったく馴染みのない、ばかば

かしいことだということが少なくないからです。

一年を振り返り、一歩前に出る時です。これまで生きてきたことを振り返ってみると、反省し、新たに覚悟し、計画したことが、私の人生にどれだけ無意味だったか容易にわかります。計画はただ心の表明にすぎません。しかし、それさえもなければ、むなしく、今日少しの希望を持つと、再び決意してみます。

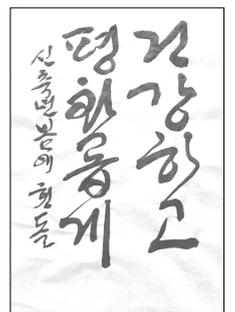
私は可能な限り、事実を見ようと努力し、事実に対して安易な判断をしないようにします。事実とは、どこから見るとかによって、事実判断自体がまったく違ってきますから、事実だけを見ようとすることにも問題があります。それでも事実を見ようと努力します。判断はとも不正確なものだからです。だから、だれかが私の近くであれこれを安易に判断しようと

ログラムのない第5日曜日に企画しました。

会友からそれぞれが信仰をもつようになったきっかけや、クエーカーについての疑問や感じることなどを伺い、お互いにより分かち合いができました。

## 会友懇談会を開催

11月29日と1月31日の午後、会友懇談会を開催しました。普段の午後は「クエーカー学習会」や「聖書を読む会」「事務会」などがあって、会友と会員がゆつくり話す機会があまりないため、プ



健康で 穏やかに  
辛丑年春 ヒントル

ヒントル (白石) は筆者の号

するときに、しばしば強い違和感を感じ、いらいらします。私の仕事判断を前提しないということ、今となっては本当にありがたいことです。

また、比較をしないで暮らそうと努力しています。聞く、見る、触るものを、他よりも大きい小さいか、すてきかダサイか、良いか悪いか、正しいか間違っているかなど、どれだけたくさん比べていますか。食べ物についても、どのレストランよりも、誰の家よりも、いつ食べた物よりもおいしいとか、まずいとか、言ったり聞いたりしませんか。それは自分がおいしく食べて幸せなことと何の関係がありますか。そうしているうちに、そのこと自体がもつ深い意味を失い、必要のないものに埋没し、渦に引きずり込まれてもがくことがいかに多かったか。比較することによって自らが傷つき、他人を傷つけることがいかに多かったか。あるがまま見ることがいかに美しい

## 書評

☆「瓢通信」 117号より転載  
(韓国大田月会)

人は老いるにつれて、何を手に入れるのか 原題 LET EVENING COME  
メアリーCモリソン著 香川じゅんこ訳 ディスカヴァー21発行

やがて、その一行が刻まれた詩の全体が、老いた自分のいまの経験と、驚くほど調和して鳴り響くことに気づく。はじめて読んだ若き日の自分には、少しも想像できなかったほどの調和を奏でていることに。(本文より)

この本を読んでクエーカーに興味を抱いて礼拝に訪れたという方から教わり、すぐに読みました。とても美しい本で本棚にいつも置いておきたいと思えます。ペンシルバニア州で晩年を過ごした著者は89歳になってそれまで評判になっていた文を本に纏めました。たんと日々の移ろいを描かれていてその文章はさなざまな場面を中心に響いてきます。米国でロングセラーになったこと、世代を超えて若者にも好まれた由縁と思えます。  
(鈴木佳子)

☆月会図書室に備えました。

## Advices and queries as compiled by young Quakers

### 英国ヤングのしおり

- ・自分に真実であれ
- ・人生のすべての局面において霊的であれ
- ・沈黙を楽しめ
- ・キリスト教の伝統を忘れるな
- ・助けとなる場合は宗教的文学を用いよ
- ・宗教的多様性のある社会は豊かさの根源である
- ・人生のすべての時に霊的なひらめきを期せずして受けることがある
- ・礼拝においては、自分の良いところも悪いところも含めた全自己を年頭におくべき
- ・どんな気分の時でも礼拝に行こう。その方が気分が良くなる
- ・自分自身に正直であれ
- ・礼拝中は精神を集中させるように努めよ



英国年会のヤングフレンズ

- ・話すことを促されたと感じたときは、感話を述べよ
- ・自分が常に正しいとは限らない。他の人々の言葉に耳を傾けよ
- ・集会において何らかの責任を負え
- ・クエーカーの信仰の実践には、さまざまなやり方があることを受け入れよ
- ・すべての人が神をそれぞれに捉えている。独善的な判断を下すな
- ・すべての人を快く迎えよ。人それぞれにいろいろな経験がある。表面を見て中身を判断するな。
- ・子どもや若者はすばらしい。よく面倒をみて、彼らから学べ
- ・信仰について語り、それを行動に移せ

- ・友人たちと楽しく過ごせ。だが、ときには互いに厳しくあれ
- ・無礼や批判は慎み、多様性を温かく受け入れよ
- ・結婚は単なる法的契約ではない。宗教的な結びつきである
- ・子どもたちとともに作業するのは難しいときもあるが、その価値はある
- ・人間関係を築くには時間と努力を要する。話し合え
- ・家族に感謝せよ
- ・冒険心を持って生きよ
- ・人生は学びの連続。難題は常に降りかかる
- ・年を取ることを恐れるな
- ・人は皆死ぬ。それを受け入れ互いに助け合え
- ・戦争は悪。長続きする善がそこから生まれることはない
- ・偏見の存在に気づき、それを乗り越えることに努めよ
- ・不公平の原因を理解し、それを是正することに努めよ
- ・自分の狭い殻に閉じこもるな。外には広い世界がある
- ・法を犯すことが必要なこともある。だがまず、それについて考え、助言を得よ
- ・人は異なることを悩む。たとえば自分には問題にならないことでも、気にしている人が前向きになれるように支援せよ

- ・正直で、誠実で、率直であれ
- ・仲間の圧力に屈するな
- ・メジャーな考え方の圧力に疑問を持って
- ・薬物やアルコールに注意せよ
- ・将来の世界のために努めよ。物の削減、再利用やリサイクルを心がけよ

2015年 英国ジュニア年会

2015年の英国ジュニア年会が作成した「信仰のしおり」です。日本年会の「しおり」が「あなたは：ですか」と問いかけているのに対して、これは自分自身に向けて「：せよ」と命じています。少年少女たちが熱心に話し合ったのでしよう。それぞれの言葉に、大人たちにはないみずみずしい感性が込められています。

#### 卒業祝う会、3月5日開催予定

例年、月会会堂に普連土学園卒業生を招いていましたが、今年には感染予防のために普連土学園で開催します。会員の方はぜひご参加下さい。時間等詳細は月会事務所にお問い合わせ下さい。祝う会で上映する「友会紹介映像作品」をヤングアダルト会員が制作中です。

# 桐生さんの思い出

渡辺宣子

日本の友会徒の中で、何人の方が富士霊園の大きな墓石に彫られた「愛」の文字をご覧になったでしょう。遠くに見える富士の山に引けを取らない堂々として包容力があり、優しさに溢れている一文字は、桐生富久さんの信仰と実践の証しと言



富士霊園にある日本年会の共同墓地

う。一年に2回送られてくる富士霊園のパンフレットのの中に、この墓石が宣伝として使われていることを思うと、だれの心にも強い印象を与えていることに間違いありません。

桐生さんと知り合ったのは半世紀も前、年会の出版委員として「友」紙の編集に携わったのが始まりでした。その頃は早稲田印刷という所へ手書きの原稿を持ち込んで、出来上がるまで数回お供をしたものです。割付けとか校正とか、知らないことの手ほどきを受けました。時にはおそば屋さんに入



2009年クリスマス祝会で司会をする桐生富久さん

入ったりして、いかに美食家であり、新し物好きでお洒落で、お金にこだわらずタクシーに貢献したか等、桐生さんの一面をおしゃべりの中から知るようになりました。その後、私の腰痛解消に効果があるはずだと、中国はりの鍼灸師を紹介してくださいさったり、〇〇式広がつていきました。どれも治療費が高い割に効果がみられず、数か月でやめてしまいました。その度に、私はまだ続けているのよと、残念がられました。それでも年齢差を感じさせない親しいお付き合いは続き、ざつくばらんな話し方で自由に笑いあえたのは、友会の中でも数少なくありがたい存在でした。今でも桐生さんの口癖「いわゆる…」が思い出されます。一つの総会だったか、試しに教えたことがありました。5分間で10回というのが、その時の結果でした。

## イースター礼拝の案内

日時 4月4日(日) 10:30 ~ 11:30

東京月会会員・会友以外にも、他月会会員や友会とゆかりのある方が永眠されました。礼拝の中で、その方たちを追悼いたします。

桐生富久さん(東京月会会員)

7月30日 93歳

坂本富美子さん(元東京月会会員)

11月13日 98歳

飯田能子さん(元戸山月会会員・日本フレンズ奉仕団理事長)

10月20日 75歳

福西基さん(下妻月会会員)

8月22日 110歳

小泉文子さん(水戸月会会員)

10月15日 98歳



すべてを含めて懐かしい思い出です。

介護老人保健施設に移られてからも、何回かお訪ねして会話を楽しみました。初めの頃は歩いて、次に車いす、それがあつた時からベッドに寝ているようになりました。人手不足が理由のようでした。

今は天国に招かれ、桐生さんのすべてを受け入れてくださる神様の許で健筆を揮い、み言葉を次々と大書していらつしやることでしょう。

### 感話より

★No.101 礼拝に参加している山下さんや前田さんの赤ちゃんを見てみると、これから成長する中でついていく知恵のあれこれを考えます。「神を畏れる」ことの原点を示さ

れました。

★今朝、「起きよ」という主の声で、いつもより早く目覚めました。心が弱くなったとき、いつも神の励ましがあることを覚えます。

★「わたしの軛を負い、わたしに学びなさい」(マタイ11・29) 私たちが負う軛はどんなものでしょうか。私たちの代わりに十字架につけられたイエス様のことを考え、神からの軛を負うことによつて、毎日真剣に暮らしていきたいと思

### 発行

キリスト友会東京月会  
住所・東京都港区三田4-8-19  
TEL・FAX・03・3451・7002  
メール・mail@kirisutoyukai.org